

公益社団法人地盤工学会北陸支部は、7月7日に富山県と「災害時における調査及び防災の連携・協力に関する協定」を締結しました。

本協定は、公益社団法人地盤工学会北陸支部と富山県が地盤災害発生時の調査において技術的な相互協力を図ること、地域の防災力向上と技術者の技術力の向上及び育成に関して、連携及び協力を図ることを目的としています。

締結式

(1)日時：平成28年7月7日(木)11時から

(2)場所：富山県民会館702号室

(3)出席者

(公社)地盤工学会北陸支部

支部長 大塚 悟 (長岡技術科学大学教授)

副支部長 松本 樹典 (金沢大学理工研究域 教授)

副支部長 杉本 利英 ((株)ニュージェック富山事務所)

副支部長 金子 敏哉 (株キタック)

幹事長 小林 俊一 (金沢大学理工研究域 准教授)

富山県

土木部長 加藤 昭悦

農林水産部参事 清水 真人

建設技術企画課長 舟田 浩志

[次ページより写真](#)





これは Google に保存されている <http://www3.nhk.or.jp/lnews/toyama/3063756071.html> のキャッシュです。このページは 2016年 7月7日 19:36:33 GMT に取得されたものです。

そのため、このページの最新版でない場合があります。詳細

フルバージョン テキストのみのバージョン ソースを表示

ヒント: このページで検索キーワードをすばやく見つけるには、**Ctrl+F** または **⌘-F** (Mac) を押して検索バーを使用します。

NHK | 番組をみつける | ウェブで視聴 | 知る学ぶ | 報道・スポーツ | 参加・応募する | ヘルプ・問い合わせ |

NHK NEWS WEB

| 受信料の窓口 | サイトマップ | 地域: 東京 | NHK 全体から検索

2016年(平成28年)7月15日[金曜日]

- [文字サイズ 小](#)
- [文字サイズ 中](#)
- [文字サイズ 大](#)

シェアする



NHK富山県のニュース 富山放送局

県と地盤工学会が防災協定

県と地盤工学会が防災協定

地震や豪雨などで土砂崩れや液状化現象などが発生した場合に安全を確保しながら迅速な復旧につなげようと、富山県は7日、地盤工学会の北陸支部と協定を結びました。東日本大震災の被災地以外で、地盤工学会と協定を結んだのは富

山県が初めてです。

この協定は、2年前の広島市の土砂災害など全国で大規模な自然災害が相次いでいることを受け、富山県が2次災害の防止を主な目的に締結を呼びかけたものです。

富山市の県民会館で開かれた締結式では、富山県の土木部長と地盤工学会北陸支部の支部長が協定を取り交わしました。

協定では、地震や豪雨などで富山県内で土砂崩れや液状化現象などが発生した場合、地盤工学会に所属する大学教授などの専門家が現地調査を行って危険な場所を判定し、2次災害を防ぐため土砂の安全な取り除き方など現場の復旧作業について専門的なアドバイスを行うとしています。

地盤工学会が自治体と協定を結ぶのは、東日本大震災の被災地である宮城県に次いで富山県が全国で2番目です。

このほか協定では、地盤工学会に所属する大学教授などが県の職員を対象に土砂災害や防災対策に関する研修会を開き、災害に備えて連携を深めるとしています。

富山県に加藤昭悦土木部長は「学識経験者に現場を見てもらうことで早期復旧につなげる体制を構築した。この体制を活用して県民の安全安心確保に努めたい」と話していました。

07月07日 12時30分



Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation) All rights reserved.
許可なく転載することを禁じます。このページは受信料で制作しています。

ご意見・お問い合わせ |
NHKにおける個人情報保護について | 放送番組と著作権 |
NHKインターネットサービス利用規約

平成 28 年 7 月 5 日

災害時における調査及び防災の連携・協力に関する 協定の締結式について

～地盤工学会との防災協定締結は、自治体として宮城県に続き全国で2番目～

地震や豪雨等により地盤災害が発生した際には、現地を調査のうえ公共土木施設等の復旧に向け早急に対応する必要があります。

今回、学識経験者から技術的な助言を幅広く得ること等を目的として、公益社団法人地盤工学会北陸支部と災害時における連携・協力に関する協定を締結しますので、お知らせします。

1 締 結 先

公益社団法人地盤工学会 北陸支部 (支部長 大塚 悟)

2 協定の概要

地盤災害発生時の調査における技術的な助言などについての協力を図ること。また、地域の防災力向上と技術者の技術力の向上及び育成に関して、連携及び協力を図ること。

3 締 結 式

(1) 日 時：平成 28 年 7 月 7 日(木) 11 時から

(2) 場 所：県民会館 702 号室

(3) 次 第

- ① 開会
- ② 協定締結
- ③ 出席者挨拶
- ④ 写真撮影

(4) 出席者

・(公社)地盤工学会北陸支部

支 部 長 大塚 悟 (長岡技術科学大学教授)
副支部長 松本 樹典 (金沢大学理工研究域 教授)
副支部長 杉本 利英 ((株)ニュージェック富山事務所))
副支部長 金子 敏哉 (株キタック)
幹 事 長 小林 俊一 (金沢大学理工研究域 准教授)

・富山県

土 木 部 長 加藤 昭悦
農 林 水 産 部 参 事 清水 真人
建 設 技 術 企 画 課 長 舟田 浩志

地盤工学会と県が災害協定

地域の防災力向上へ連携・協力

全国で2例目

(公社)地盤工学会北陸支部(支部長・大塚悟)長岡技術科学大学大学院(教授)と富山県は7日、富山県民会館で、災害時における調査および防災

の連携・協力に関する協定締結式を開いた。地盤工学会が自治体と防災協定を結ぶのは、宮城県に続き全国で2例目。北陸支部管内(新潟



「災害時における調査及び防災の連携・協力に関する協定締結式」

富山県・公益社団法人地盤工学会北陸支部

出席者による記念撮影=7日、県民会館

・富山・石川県)では初めてであり、富山が砂防立県である歴史などを踏まえ、他県に先行し協定を結ぶことにした。

な知見に基づく技術的な助言を迅速にいただける体制が構築できたことは大変意義深い」と感謝の言葉を述べた。

締結式には、北陸支部から大塚支部長、副支部長の松本樹典、杉本利英、金子敏哉の3氏、小林俊一幹事長、西本俊晴事務局長ら、県側からは、加藤昭悦土木部長と清水真人農林水産部参事、舟田浩志建設技術企画課長ら

これに対し、大塚氏は「学術的な支援により、富山県民の安心・安全に貢献できれば、公益法人としての目的にかなう」とあいさつした。

が出席した。大塚支部長、加藤土木部長が協定書にそれぞれ押印、書面を取り交わした後、加藤氏は、「全国各地で大規模な自然災害が多発しており、災害時

今協定は、両者が包括的な連携の下に相互に協力し、地盤災害発生時の調査や地盤災害の減災、防災対策に向けた取組を通して、災害対応力の強化と防災技術の向上を目指すことが目的。

への備えを一層強化していく必要がある。地盤災害は二次災害の危険性が非常に高く、発生要因も多種多様。地盤災害発生時の調査に対し、学術的

具体的には、①地盤災害発生時の調査の技術的な助言、社会資本の整備・管理における技術的課題解決に関する②地域の防災力向上と技術者の技術力向上・育成に関すること―について、連

携と協力を進める。

締結式終了後、同支部主催の「熊本地震報告会」も開催。北陸地方整備局企画部の鈴木和弘技術開発調整官が熊本地震におけるTEC-FORCEの活動状況を説明したほか、富山県立大学の古谷元氏、金沢大学の池本敏和氏、京都大学防災研究所の川崎一朗氏が、それぞれの立場から研究成果などを報告した。

【建設工業新聞 2016年7月8日付6面掲載】
©2003-2016 (株)北陸工業新聞社